

最終決戦 公立一般入試(3/12)

国私立入試が終了し全員が合格しました。残すは2月21日の高専3月12日の公立一般入試のみとなりました。併願の私立高受験は前哨戦。つまり結果を受けて「いかに本番を迎えるか」が大切です。「予定通り」だった生徒にとっては**気の緩みが最も危険**。また、いわゆる「回し合格」であった生徒は、「結果から何を学ぶか」が重要。弱腰にならず本番までに実力不足を補う努力をすればよいのです。「今がまさに勝負時。弱い自分と必死で闘って下さい」。

私は仁川学院受験で「特進S→進学回し」になったにもかかわらず北摂三田高にチャレンジして合格した生徒を数名知っています。彼らが北摂三田高合格後に語ったのは共通して「意地」と「支え」でした。ここまで勉強してきた自信が「意地」を生み、子どものがんばりを見守って下さった家族の方々が折れそうになる心を「支えた」ことが最高の結果を引き寄せたのです。〔野垣勝彦〕

| 2,3月のおもなスケジュール | | |
|----------------|---|-------------------------------|
| 2/25 | 木 | 2015年度 授業終了 |
| 26 | 金 | 公立直前ゼミ 開始 新高1スタートアップ講座 開始日 |
| 3/6 | 日 | やる気UPこんさあと |
| 7 | 月 | 2016年度 新年度開講 |
| 12 | 土 | 公立一般入試日 |
| 13 | 日 | 新高1激励会(予定) |
| 19 | 土 | 公立一般合格発表日 |
| 21 | 月 | 春分の日【授業あり】 |
| 26 | 土 | 3月度 授業終了 新高1スタートアップ講座 終了日 |
| 28 | 月 | 春期講習スタート |

春休みにできること

早いものでもうすぐ春休みです。新しい学年・学校での生活に胸を躍らせることになるでしょう。そんなときも特進館のみなさんには忘れずに行ってほしいことがあります。それは、今年の学習を振り返り、自分の苦手な分野を見つけておくことです。

新しい学習が始まるとついそちらにばかり意識が向いてしまいがちですが、今までの内容がしっかりと定着していなければどこかでつまづいてしまいます。特に学年末テスト終了後に学習した範囲は春休みのうちに復習しておかないと抜けてしまいます。さらに、夏休みや冬休みと違って春休みに勉強する人は多くありません。これはチャンスです！レッツトライ！〔金子祐太〕



20160131 愛すスケート
で銀盤を満喫しました！



本部事務局より

3月分学費の振替日は、2/29(月)となっております。3/7(月)より新年度の授業がスタートいたします。先月号の特進館通信にも記載させていただきましたが、今回の3月分学費とあわせて新年度教材費をご請求させていただいております。金額等の詳細につきましては明細をご確認いただきご不明な点等ございましたら、本部事務局〔☎079-563-0300〕までお問い合わせください。

視力が過去最悪 スマホが原因か？

子どもたちの視力低下が止まらない。文科省がまとめた2015年度の学校保健統計調査によると、裸眼視力が「1.0未満」の小学生の割合は30.9%と過去最高になった。幼稚園児も増加傾向で、中高生は半数を超えている。専門家はスマホや携帯ゲーム機などの長時間利用が視力の低下の一因とみている。

1.0未満の小学生の割合は、調査を始めた1979年度は17.9%だったがその後は増え続け、12年度からは毎年30%を上回っている。幼稚園児も79年度の16.4%から15年度は26.8%に。ピークの08年度(28.9%)は下回ったが、依然として高水準だ。中学生は54.0%、高校生は63.7%だった。

日本小児眼科学会の前理事長で川崎医療福祉大の田淵昭雄名誉教授は「幼い頃からスマホなどの画面を長時間近くで見ていることが原因。家庭内でのルールを作ったり、なるべく外で遊ばせたりして、目を酷使させないでほしい」と指摘する。

一方、虫歯のある子どもの割合は改善傾向が続く。高校生は52.4%で過去最低を更新。幼稚園児は36.2%、小学生50.7%、中学生40.4%で、いずれも前年度より減少。70年頃は90%以上の子どもに虫歯があったが、学校での歯磨き指導や家庭での習慣づけが効果をあげているという。年齢別で虫歯のある割合が、最も高かったのは、9歳(57.6%)、最も低かったのは5歳(36.2%)だった。

編集 後記

3月、塾ではひとあし先に新年度を迎えますが、学校では学年を終える時期となります。といっても、子どもたちの楽しみは春休みに、新学年のクラス替え、担任の先生…など、先のことばかり。親にしても来年度のPTA役員など、自分のことも含めて先の心配をしがちです。年末とは違った振り返りをできるのもこの時期だけ。宿題も少ない春休み、子どもと一緒に少しでも振り返りの時間をもちたいなあと思います。